

古代交通研究会第23回大会のご案内

「日本古代の官衙と物流—倉庫・道路・津—」（仮）

2025年6月28日（土）・29日（日）

【シンポジウム趣旨】

地方官衙遺跡の大きな特徴として、大規模な倉庫群（正倉）の存在を挙げることができます。地方官衙は租税の集積地であるだけでなく、地域社会における生産と流通の拠点でもあったと考えられます。これまで議論されてきた官衙の立地と機能について、倉庫群と陸上交通（道路）・水上交通（津）との関係を総合して考えることで、物流の視点から古代交通の実像に迫ることができるのではないかと考えます。

また、地域社会のみでなく、より広い範囲での物流を考える上でも、官衙（倉庫群）と交通路の関係は重要です。たとえば、ミヤケとの関係が想定される大阪府法円坂遺跡や福岡県比恵遺跡の倉庫群では、難波津・那津（博多津）との関わりにおいて物資が集積されていたと考えられます。八世紀以降においても難波津や那津（博多津）は都城・大宰府と海外とを結ぶネットワークの結節点としての性格を有していました。また、大宰府との関係では、周辺の山城も含めた交通網も検討する必要があります。

以上の問題意識に基づき、大会シンポジウムでは、郡家・国府・大宰府・山城など、様々な官衙における倉庫と陸上交通・水上交通との関係を軸にして、古代における物流について考察したいと考えています。文献史学・考古学双方の視点から、また多様なレベルの官衙（倉庫群）に関する各報告により、議論を深めていきたいと思っております。

【会場】

明治大学駿河台キャンパス（JR中央線・総武線、御茶ノ水駅最寄り）

【日程】

第1日目（6月28日） 総会・個別事例報告

第2日目（6月29日） テーマ報告・パネルディスカッション

【開催方法および申込方法】

- ・会場での対面、およびオンライン（zoom）を併用したハイブリッド方式を予定しています。
- ・対面、オンライン参加ともに事前の参加申込が必要となります。大会の詳細や申込の手続き、大会資料集の購入については後日に弊社ウェブサイト（<http://kodaikoutsu.gl.xrea.com/>）やSNS（XおよびFacebook）にてお伝えいたします。

【問い合わせ先】

- ・古代交通研究会 第23回大会事務局 E-mail: kodaikotsu@gmail.com